

評価対象年度	令和5年度
目標に対する達成度	1 採用に関する目標 目標：毎年6月1日時点の実雇用率について、法定雇用率を上回る。（令和5年6月1日現在の法定雇用率は2.6%） 結果：令和5年6月1日時点の実雇用率は<u>2.70%</u> （参考）教育委員会を除く実雇用率 2.89% 教育委員会のみの実雇用率 2.14% 2 定着に関する目標 目標：なし ※本計画では定着に関する目標を設定していないが、障がいのある常勤または非常勤の新規採用者について、採用後の定着状況を把握することとしている。 結果：常勤 新規採用 1名（1年定着率 100%） 非常勤 新規採用 2名（1年定着率 100%）
取組内容の実施状況	1 障害者の活躍を推進する体制整備 <組織面> ○障害者雇用推進者として人事課長（教育委員会においては教育総務課長）を選任 ○障がい者雇用推進チームを設置（令和3年7月1日） ○役割分担及び各種相談先については、人事異動等により変更が生じるため、定期的に更新を行っている。 <人材面> ○公務部門向け障害者職業生活相談員資格認定講習を受講（令和4年12月2日） 2 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出 ○全ての職員を対象に、毎年度異動希望調査の実施している。 ○人事評価制度に伴う所属長面談（年4回）や所属長に対する人事課長ヒアリングを通じて適切な業務の選定、マッチングに繋げている。 3 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理 <職務環境> ○障がい者雇用率の算定に関する同意書の提出を依頼する際に、合理的配慮に関するアンケートを実施した。 ○聴覚障がいを持つ職員への合理的配慮として、音声認識アプリ等導入済みタブレットを配付した。 <募集・採用> ○面接試験においては、事前に手話通訳や車いす、補聴器等の要否について案内を行うなど障がい特性への配慮を行った。 ○募集・採用に当たり、特定の障がいに限定せず実施した。

	○将来の一般就労に向け、職場経験を積むことを目的に唐津市障がい者就労支援事業（チャレンジ雇用）において障がい者1名を採用。チャレンジ雇用終了後は、本市の会計年度任用職員（年間雇用）として一般採用し、障がい者就労のステップアップに繋げた。 ＜働き方＞ ○全ての職員を対象に、毎年度、年次休暇等の取得促進に関する通知を発出している。 ＜キャリア形成＞ ○全ての職員を対象に、各種研修等の受講案内を行っている。 ＜その他の人事管理＞ ○例年実施する合理的配慮に関するアンケートの回答内容に対し、個別面談を実施し、状況の把握や体調配慮、職場環境の改善を図っている。 4 その他 ○国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等の令和5年度実績額は8,239,864円であり、令和4年度比で850,232円増であった。 ○令和5年度は、唐津市役所玄関ロビーにおいて、障害者支援施設の主催による「は～とふるマルシェ」が計12回開催された。
「目標に対する達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果	1 目標に対する達成度について （1）採用に関する目標 ○正規職員（障がい者枠）1名新規採用 会計年度任用職員 2名新規採用 実雇用率は、法定雇用率（2.6%）を上回っており、採用に関する目標を達成することができた。今後も常勤職員及び会計年度任用職員の募集において障がい者枠を設けるなど、法定雇用率の向上を図ることとする。 （2）定着に関する目標（定着状況の把握） ○令和5年度に新規採用した対象職員3名全員が1年間定着し、定着率100%を達成できた。今後も定着率の維持向上のため、人事評価等により、採用後の職務遂行状況を定期的に確認し定着につなげることとする。 2 取組内容の実施状況について ○障がい者の活躍を推進するための体制については、組織面、人材面ともに整備しているが、障がいのある職員の希望を確認しながら、職員の能力や特性に合った業務とのマッチングを行うために必要な面談や人事管理等を継続的に実施していく必要がある。